

体験入学・セミナー日程

城内キャンパス(第1校地)と久野・荻窪キャンパス(第2校地)で同時開催

サマーセミナー・学校説明会 午前9時～

体験入学セミナー・学校説明・相談会 午前9時～

第1回 7/28(土)

第3回 9/15(土) 第6回 10/27(土) 第9回 12/1(土)

第2回 8/25(土)

第4回 10/6(土) 第7回 11/17(土) 第10回 12/8(土)

第5回 10/20(土) 第8回 11/24(土) 第11回 1/12(土)

文化祭 一見学と相談会 午前10時～午後2時

日時 11/10(土)

※自由に見学できます。入試相談コーナーもあります。

※この他にもさらに、臨時の学校説明・相談会を開催していく予定です。その時期に合わせて各中学校に送付する旭丘教育通信をご覧ください。本校にお問い合わせください。

2019年度生徒募集

募集定員 533名(推薦266名、一般267名) 募集学科 普通科(男女)270名/総合学科(男女)263名

※総合学科には「大学進学クラス」のジェネラルクラス(学業進学クラス)・スポーツ進学クラスの2つと、「進路探求クラス」「不登校生ベーシッククラス」があります。

※総合学科進学クラスには大学進学者を対象にした「特別奨学生制度」(主として学業に関するものと主としてスポーツ・個性に関するもの2種類)があります。

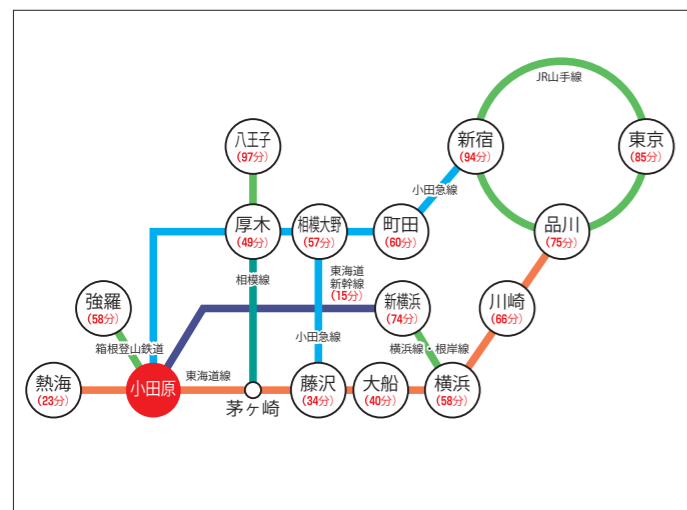
詳細は本校体験入学の特設講座や地区別相談会にておたずねください。

※普通科には、「一般クラス」「クリエイティブクラス」「不登校生ベーシッククラス」があります。

※なお、不登校生のうち入学後、通常の一般クラスで高校生活を送ることを希望する方は「不登校生特別推薦枠」での入試制度も活用することができます。

ACCESS

■ 小田原駅までのアクセス



■ 小田原駅からのアクセス



学校法人新名学園

旭丘高等学校

[第1校地] 〒250-0014 神奈川県小田原市城内1番13号

TEL:0465-24-2227(代) FAX:0465-22-0216

[第2校地] 〒250-0042 神奈川県小田原市荻窪1980

TEL:0465-21-0660(代) FAX:0465-21-0680



HPもチェック!▶

<http://www.niina-gakuen.jp>

ASAHI GAOKA

SENIOR HIGH SCHOOL

SCHOOL GUIDE BOOK 2019

なぜ?から紐解く「旭丘高校の学び」

“Why?”

Asahigaoka
is here.

小田原城敷地内に
学校があります。

小田原から、世界へ。

参加・自治・学び
生徒が主人公の学校

創立116年
地域と共に生きる学校

生徒・保護者・教職員・
同窓生・地域
みんなで作る学校

学ぶことと
生きることをつなぐ
わかる楽しい授業

一人ひとりの個性を生かし
多様な進路を拓く
キャリア教育

Think Globally, Act Locally
足元からのグローバル教育で
地球市民を育てる

Think Globally, Act Locally.

小田原のまちが教室 未来を支える学校づくり

2012年に創立110周年を迎えた新名学園旭丘高等学校は、新しい私学の創造を目指し、地域に根ざした教育を軸に、国際交流にも活動の幅を広げています。

「小田原のまちが教室」とする青年期の学びと自立の課題に応える教育課程づくりは、

“Think Globally, Act Locally.”の視点を持つ「足元からのグローバル教育」と結び、さらなる発展を遂げています。

Contents

- 01 小田原から世界へ
- 03 巻頭企画「Why?」
- 09 旭丘高校の学び/旭丘高校の「キャリア教育」
- 11 【普通科】一般クラス/クリエイティブクラス
- 13 【総合学科】学業進学(ジェネラル)クラス/スポーツ進学クラス
- 16 【総合学科】進路探求クラス
- 17 【普通科・総合学科共通】ベーシッククラス
- 19 進路実績/授業料・学費支援制度
- 21 SCHOOL EVENTS(年間行事)
- 23 CLUB ACTIVITIES(クラブ活動)
- 25 CAMPUS MAP #1(城内キャンパス)
- 27 CAMPUS MAP #2(久野・荻窪キャンパス)
- 29 VISION/旭丘の歴史
- 裏表紙 体験入学/アクセス

Why?

Special Contents

“Why?”

なぜ?から紐解く 「旭丘高校の学び」

2012年に創立110周年を迎えた旭丘高校は、地域の青年期教育を担う学校として、その役割を果たしてきました。そして今、みんなでつくる学校づくり・まちづくり、地域的・国際的な文化・スポーツ交流など、ユニークな試みが行われています。旭丘高校の「なぜ?」を紐解き、「旭丘高校の学び」を紹介します。

Why?

01

なぜ、「みんなでつくる学校」の 思いを大切にしているの?

Because

旭丘高校は、生徒や保護者、教職員、地域の方々と同じ目線で向き合い、みんなで学校づくり・地域づくりに取り組みます。生徒たちは「公開まちづくりシンポジウム」や「全学協議会・全学教育研究会」などに積極的に参加し、学校や地域、社会の課題を自分たち自身の問題として捉え、新しい学びを創造しています。

旭丘高校の教育目標

日本国憲法と教育基本法、子どもの権利条約の理念に基づき、人権と自由、平和と民主主義、学習権・発達権を保障する学校の創造を図る。自主的民主的な活動と社会参加を通して豊かな学力と勤労を重んじる全面的に発達した人間の育成を図る。

公開まちづくりシンポジウム

地域の「文化センター」「防災センター」としての役割を担う旭丘高校は、「公開まちづくりシンポジウム」を25年間にわたって継続開催してきました。第29回を迎えた今年5月19日のシンポジウムでは、無償教育に向かう世界と日本の動向を指針に、少子高齢化・人口減少による学校と地域の危機を乗り越えていく道を探究することが主題とされました。シンポジウムの事務局を務める生徒会が特別報告をし、全学と地域からの参加者は、未来を生きる子ども・生徒の声に耳を傾け、学校と地域の再生に向けた活発な討論を繰り広げました。

全学協議会・ 全学教育研究会

全学協議会は、生徒会・PTAの保護者、神奈川県父母懇談会旭丘支部（卒業生父母）、教職員、同窓会、学園（理事会・評議員会）の代表で構成され、みんなが対等・平等に、授業・カリキュラム、校則、施設・設備、学校とまちづくりのことなど、学校に関わるさまざまな問題について、それぞれの立場から意見交換をし、討議を深めています。1961年から毎年行われている全学教育研究会は、生徒や父母も参加し、公開研究授業を参観して、よりよい授業・カリキュラムについて話し合う場になっています。生徒たちはこうした学校参加を通して「18歳選挙権」の時代に必要「人間力」「社会力」を育てています。

HR懇談会・PTS懇談会・ 地域教育懇談会

旭丘高校では、毎年6月にホームルーム懇談会、10月にPTS懇談会を実施しています。「P」はparents（父母・保護者）、「T」はteacher（教師）、「S」はstudent（生徒）の頭文字です。この三者懇談会は、ホームルーム活動を通しての意見表明や高校生活における具体的な発達課題を見出し、担任・保護者でそれを共有し、子育てを3者共同で解決していこうとするものです。また、クラスや学年の枠を飛び越えて地域ごとに開催される「地域教育懇談会」も頻繁に開催されます。教師と保護者が共に子どもたちの成長と学びについて語り合い、地域内における相互理解を深めていきます。

VOICE



人として尊重されるからこそ学校やまちをつくる一員としての自覚が生まれる

以前の私は、自分の意見を言うことを恐れ、人の顔色ばかり気にしていました。そんな自分が、学校や社会の問題について自由に意見を言う先輩たちの姿にあこがれ、生徒会の活動に参加しました。全学協議会や全学教育研究会などの場で自分たちの意見が尊重され人として対等に扱ってもらえることを実感し嬉しく思いました。だからこそなおさら、自分たちも学校やまち、社会をつくっていく一員としての責任を持っているのだとの自覚が芽生えてきました。

生徒会長 3年生 山崎 莉奈さん

Why?

02

なぜ、「足元からのグローバル教育」が必要なの?

Because

Think Globally, Act Locally.

旭丘高校は「みんなでつくる学校」を実践する一方、“Think Globally, Act Locally.”(地球規模で考え、地域で行動する)の視点で、「足元からグローバル教育」を教育理念としてさまざまな取り組みを行っています。生徒自身が自治の力に支えられ、学校づくりと結んだ地域づくり・まちづくり・国づくり、国際交流などに関わることは、すなわち自分たちの地球市民としての必要な教養を培うことだと考えるからです。

旭丘高校が学園創立110周年を機に位置づけた「国際連携教育」は、中国の二つの姉妹校との連携・交流をもって展開されています。これまで、旭丘高等学校からは5回の姉妹校への訪問が実現。生徒会、演劇部、書道部、相撲部、吹奏楽部、剣道部、陸上競技部などの代表部員やヒップホップダンス世界大会出場生徒などが訪中し、日中高校生文化・スポーツ交流を行ってきました。また、中国の姉妹校の生徒たちの日本訪問は4回行われ、生徒会とPTA・父母懇談会による手づくりの歓迎集会、同窓会による茶道体験、入学式への参列とともに地域と結んだ交流(小田原市長表敬訪問、西湘日中友好の集いへの参加など)がなされています。特に学校の使命である授業を通じた交流が行われていることが特徴で、中でもユニークなのは“治水神”として崇められている中国古代夏王朝の禹王の碑を西安の碑林と酒匂川上流の文命堤の碑文で読み解く日中高校生共同フィールドワーク授業です。参加した生徒たちは「深く長い日中両国の友好・交流の歴史を知りました」と学びを深めています。さらに現在は、西安外国語大学附属西安外国語学校との旭丘高校の間で、両校が締結した第3次姉妹校協定に基づき、中国から日本の大学に留学を希望する生徒に対しての新たな留学生制度を創設する共同事業が進められています。

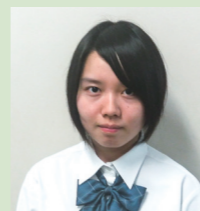


安陽市政府代表団が久野・荻窪キャンパスを視察・交流

今年6月7日、姉妹校を所管する中国・安陽市政府の代表団(祝振玲副市長ら7名)が旭丘高校の久野・荻窪キャンパスを訪れました。代表団一行は、3月に安陽市を訪問した生徒と職員が掲げる歓迎の横断幕で出迎えを受けた後、相撲部員による迫力ある立ち合い稽古に触れ、感嘆の声を上げました。そして、剣道、基礎体力、陶芸の授業も見学。祝副市長は、スポーツと文化活動を推進し、身体と手指を使い人間能力を発展させる“技と知と観”を統一する旭丘高校の教育に共感を示し、教育・文化の相互交流をさらに進化させたいとの希望を水野理事長・学校長に語りました。



VOICE



言葉や文化は違っても、共に今を生きる若者たち

私は今回の国際交流を通して、幅広い視野を持って人に接することを学びました。最初は中国の人たちと関わることに不安を抱いていました。言葉や文化が異なるし、メディアではよく国家間の問題などが取り上げられているからです。しかし、私は中国の高校生と友だちになることができました。一緒に食事をして、遊んで、話をする彼らの姿は、日本の高校生と変わりませんでした。言葉や文化は違えど、彼らは私たちのことを大好きだと言ってくれました。「中国人」や「日本人」という以前に、一人の人間であり、今を生きる若者なのだと感じました。

生徒会副会長 2年生 平田 理名さん

Why?

03

なぜ、旭丘高等学校は「一人ひとりの可能性」を大切にしているの?

Because

旭丘高校では、生育歴や個性、価値観や考え方の異なる生徒たちが、お互いを認め合い、一人ひとりの生徒の声や要求を大切に共同するホームルームづくり・全校生徒自治集団づくりが生徒たち自身の手で取り組まれています。こうしたなかで、この間、スポーツ・文化活動の分野で、さまざまな生徒たちが、自分の個性を発揮し、能力を伸ばし、見るべき成果をあげています。その土台には、一人ひとりの生徒の可能性を大切に建学の精神と、それを継承した教育目標があります。



旭丘の3年間で輝きはばたいた卒業生たち

自分を支え、伸ばしてくれた人たちに恩返ししたい

— 在学時代に3000m障害でインターハイ出場した卒業生 —



2017年度卒業生 山内 滉士郎さん (大東文化大学国際関係学部 1年生)



大学の陸上部で課せられているのは、これからの土台をつくるために、とにかく距離を走り込むことです。日々のトレーニングはとても厳しく辛いですが、高校時代の体験が今の自分を支えています。一つは、顧問の先生が自分の気持ちや意見を受け止めて指導してくれた環境のなかで自分の力を発揮できた実感、感謝していること、もう一つは、たくさんの人達が自分を応援し励ましてくれていたことが自分の力になっていたことを大学に入ってあらためて深く自覚したことです。顧問やそういう人たちに恩返ししたいという気持ちを胸に、箱根駅伝出場を目標に頑張ります。そして、生涯陸上競技を愛し、陸上競技をしていきたいと思っています。

高校時代の出会いがあったから、真っ直ぐに進んでいける

— 在学時代に「二科展」に3年連続最年少入選した卒業生 —



2017年度卒業生 朝倉 梨理さん (創形美術学校 1年生)

専門学校で自分の好きな美術のことを学ぶ日々は、とても充実し、楽しいです。高校時代、日本最高峰とも言われる大きな美術展に自分の絵を応募するために頑張った体験は、自分の中にとっても大きな財産となって残っています。自分の背丈より大きなキャンパスに、まさに絵と自分が一体になるような集中力を持続させて、自分の思うままに絵を描いた。そういう環境を周囲の人たちがつくってくれました。そして、中学校のときは人との関係が美術部の狭い範囲に留まっていた私でしたが、高校では先生や生徒の仲間をはじめ、たくさんの人たちと出会うことができました。そうした人たちの励ましを受けたからこそ、真っ直ぐに進んでいけると感じています。



全校生徒の心を一つに繋ぐことが一人ひとりの力を引き出す

2016年度卒業生 梅林 栞さん (和光大学現代人間学部 2年生)



私の生徒会長時代、文化・スポーツ分野の大きな成果を全校の生徒で共有できるように、運動部の地域・全国の大会に全校代表応援団を組織することや、文化祭では、美術展や書道展に入選した仲間の作品を展示したり、ヒップホップダンスの世界大会で2連覇した仲間の公演をステージで披露するといった活動を始めました。私自身、チームで励まし合って試合に挑む運動クラブの皆さんの姿に感動し、また「みんなの声援が力になった」との選手の声をととても嬉しく思いました。全校生徒がお互いの努力や成果を認め合い、支え合う中でこそ、一人ひとりがさらに自分の力を伸ばしていけるのだと感じました。

旭丘高校の学び

ASAHIGAOKA EDUCATION

旭丘高校の「キャリア教育」

3年間のキャリア教育で拓く 生き方と進路・進学

旭丘高校では3年間の高校生活を通して生徒が自立し、現代社会の課題と向き合っ、自らの進路・職業の選択を実現していくために、各学年に参加・自治・学びの活動に関わるテーマが設定され、教育課程全体を通じたキャリア教育が展開されています。1年次のテーマは「交わりと自治」、2年次は「平和と人権」、3年次は「進路と生き方」です。



1年次

人と交わる力を養い、 社会的自立の基礎を築く



生徒会主導のもと、ホームルームを基盤として、体育祭・文化祭・社会見学・修学旅行・卒業を祝う会などのさまざまな行事に取り組みます。生徒自身が目標を立てて、クラス全員が活躍できる場をつくるよう企画を工夫しています。授業やホームルーム活動、行事に積極的に参加して充実した高校生活を送るなかで、人と交わる力を養い、社会的自立の基礎を築いていきます。

VOICE

班長としての活動を通して
変わった自分

自分に自信がなかった私にとって、ホームルームのリーダーである班長への立候補はかなりの冒険でした。しかし、班長会としての活動に取り組むことを通じて、「自分でも人のために役に立てる」と思えたときの喜び、仲間が働きかけに応じてくれたときに覚えた信頼感が、私自身を変えようとする原動力になりました。一人で悩むのではなく、仲間の悩みと自分の悩みを重ねて考え解決していこうとできる自分になりました。

A.I.さん

2年次

ナガサキ平和学習で 「平和のうちに生存する権利」を学ぶ



2年次には「ナガサキ平和学習」を行います。この長崎修学旅行を節目に、「核と平和」の問題に視野を広げ、被爆の実態や「核兵器のない世界」を目指す国際的な動向にも触れて、「平和のうちに生存する権利」を学びます。原爆を自然科学・社会科学の両面からとらえた学習、亡くなった被爆者の方の数になぞらえ、7万数千羽を目標とした折り鶴づくり、事後の50字メッセージや合唱構成詩づくりなど、本校独自の総合学習を行います。

VOICE

ナガサキ現地での
体験的な学びを通して
平和の大切さを実感

長崎修学旅行での被爆地での学びは、知識を整理するだけの勉強とは違っていました。原爆資料館で被爆者体験の講話を聞き、街のなかに残る原爆の傷跡に体で触れて、当時の状況が頭の中にイメージされ、そこにいた人たちの苦しみや悲しみを感ずる涙がでました。そして、これからは私たちが被爆者の方々の思いを受け継ぎ、次の世代に戦争の悲惨さと平和の大切さを伝えていこうと心に決めました。

Y.H.さん

3年次

3年間で学んだ3つの力で 2つの進路を決定



3年間の、仲間との共同や地域・社会と向き合う学びで得た「手をつなぐ力」「平和を愛する力」「物事を科学する力」をベースに、2つの進路を決定します。1つは人類社会や日本、地域の未来の見通しをつかむ「大きな進路」。もう1つは自らの具体的な進学先や就職先などの「小さな進路」です。大学の先生や企業の方を招いて行われる進路ガイダンスや三者面談、履歴書の書き方や面接の仕方など、丁寧な進路指導が行われます。

VOICE

インターンシップの実習で
専門的な学びを
深めたくなりました

3年生の課題研究(インターンシップ)で保育園の実習に行きました。子どもたち自身の生活の変化に目を向け、同じ目線で話すことなど子どもたちを人として尊重して接する大切さを学びました。そして、思ったより仕事量が多く、個性が違う子どもたち一人ひとりを理解して対応する保育士の仕事の大変さを実感。大学で子どもの発達について専門的な学びを深めたいとの気持ちが強くなりました。

K.Y.さん

自ら進路を拓く力の形成へ

COURSE INFO

【普通科】
一般クラス
クリエイティブクラス

PAGE
11

【総合学科】
大学進学クラス(学業クラス/スポーツクラス)
進路探求クラス

PAGE
13

【普通科・総合学科共通】
ベーシッククラス

PAGE
17

教育の特徴

本校では、青年期の自立と学びの課題に応えるべく、「成長」と「発達」の問題を現実の生活や社会の中でとらえ、「生活と教育を結合させる」視点で教育課程が編成され、普通科・総合学科の両課程ともさまざまな青年期教育のカリキュラムが配置されています。本校の教育課程は、「自主的民主的な活動と社会参加を通して豊かな学力と勤労を重んじる全面的に発達した人間の育成を図る」とする教育目標を具体化したものです。その特徴は以下のような点にあります。

- それぞれの個性と成長過程の中で、さまざまな発達の願いと課題を持つ子ども・生徒たちの学びと発達を保障するための多様なカリキュラムが用意されています。
- 子ども・生徒の「学力」と「発達」の問題を、教室や学校の枠の中だけでとらえるのではなく、子ども・生徒が生きる、現実としての生活や社会の中でとらえようとする視点を持ち、「生活と教育の結合」

- 生徒たちを「学ぶ主体」としていくことを重視し、生徒たちの「なぜ、何のために、何を学ぶのか」という問いかけに応え、「平和」「人権」「環境」など、現代社会の重要なテーマを各教科の授業と総合学習の中で積極的に取り上げ、生徒と教師が横並びで取り組む問題解決型の学習を大切にしています。
- 教室の中の教科学習とホームルーム活動を通して

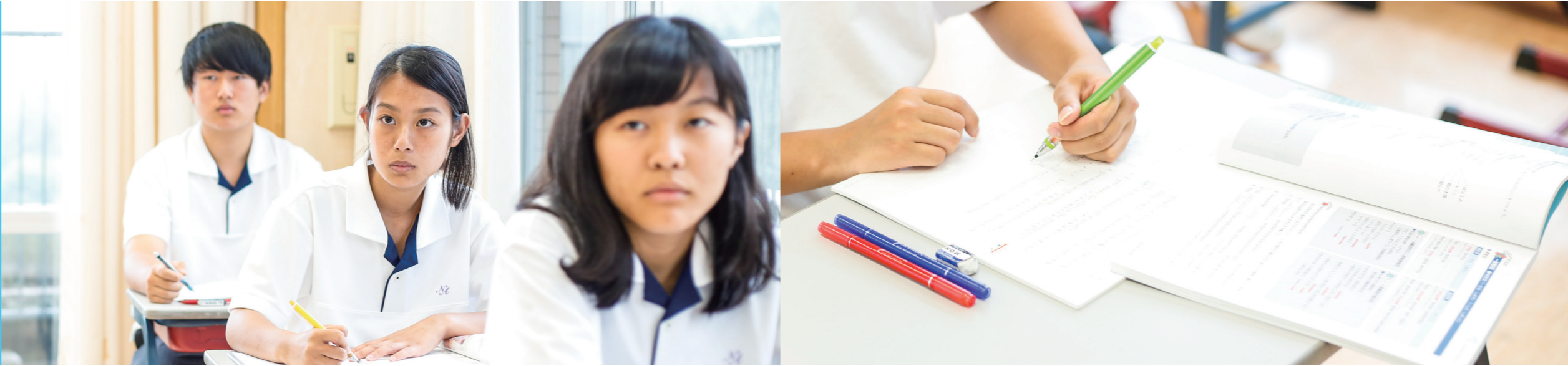
- た交わりや、行事、地域活動への参加など教科外の活動を結びつけ、生徒が現実の中から学ぶ課題を見だし、学ぶ意欲や関心、目的を持つことから出発して、人間力の基礎となる豊かな学力を育てます。
- さらに本校では、全学協議会や全学教育研究集会などの場を通して生徒・保護者の授業・学習への要求を受け止め、生徒・保護者の参加で授業・カリキュラムづくりを進めています。

GENERAL COURSE

普通科

- ▶ 一般クラス
- ▶ クリエイティブクラス

学びの基礎をがっちりつかみ、
仲間と共同して生きる力を



一般クラス

普通科の学びを土台に学校生活の共同を通して進路を拓く

クラスの特徴

- 知を育てる一般教科・普通科目群。不登校生徒の一般クラス特別推薦枠あり。
- ホームルームを土台に、学習と進路に向かう共同を深める。
- 仲間との共同の中で、対話する交わりの活動が「学力の土台」をつくる。
- 平和・人権・環境などの地球規模の課題に取り組み、問題解決力を培う。
- 「進学・進路選択講座」、「進学者特別講座」を開講。

皆さんの学びと進路の希望により応えるために、
普通科のカリキュラムを、さらに改革していきます。

現在、普通科は一般クラスとクリエイティブクラスを設置していますが、今後は全体的にさらにカリキュラム改革を進めています。将来的には、各人の学習の進度・学力の定着度と進路の課題に合わせた「習熟度別」の少人数学習により、効果をあげるカリキュラムとクラス編成を検討しています。今後の構想として、新たなタイプの普通科進学クラスの設置なども視野に入れています。

進学・進路選択講座

普通科には2・3年次に、普通科目を中心とした多彩な進学・進路選択講座が用意されています。生徒一人ひとりの学びの関心と進路の目標に合わせて学ぶことができます。苦手科目の克服や得意分野の強化が図れます。

▶大学での学びの土台となる広い基礎教養を身につけたい人の学習モデル(普通科一般クラス)

1年	国語総合	地理A	数学I	化学基礎	体育	保健	家庭基礎	社会と情報	コミュニケーション英語I	音楽I	総合A	総合B	ロングホームルーム	
2年	現代文A	世界史A	数学II	物理基礎	生物基礎	体育	家庭基礎	コミュニケーション英語I	進学・進路選択講座I	進学・進路選択講座II	総合A	総合B	ロングホームルーム	
3年	現代文B	日本史A	現代社会	数学II	科学と人間生活	体育	英語表現I	美術概論	進学・進路選択講座III	進学・進路選択講座IV	進学・進路選択講座V	総合A	総合B	ロングホームルーム

● 必修・共通履修科目群 ● 選択科目群 ● 総合学習の科目群



クリエイティブクラス

学び直しを重視し積極的に進学・進路を拓く

クラスの特徴

- 小・中学校の学び直しを土台に、進学・進路を切り拓く力を育てる。
- 1年次は基礎学力の回復を、2年次からは基礎・応用・発展の学力を養う。
- 他者との交わりを通じて、豊かな言語力と数量の認識力を形成する。
- 生きる力、進路を拓く力につながる総合的・発展的な学力形成を図る。
- 「進学・進路選択講座」、「進学者特別講座」を開講。

基礎学力の向上と進路を切り拓く力を養う、
クリエイティブクラスのカリキュラム。

普通科クリエイティブクラスは、基礎学力の向上に重点を置き、それを土台に考える力と進路を拓く力を養う総合的・発展的な学力を培うクラスです。他者との「交流」を通して豊かな言語を形成する授業や、「数量」の認識を現実の生活や事物に関連づける授業がカリキュラムの中に含まれています。小・中学校の時に何らかの理由で学習への困難や苦手意識を抱えて来た生徒さんや、高校生活であらためて学び直すことを通じて、積極的に進路を拓きたいという意欲を持っている生徒さんにお勧めのクラスです。



▶大学での学びの土台となる広い基礎教養を身につけたい人の学習モデル(普通科クリエイティブクラス)

1年	国語総合	言語I	地理A	数学I	数量I	化学基礎	体育	保健	社会と情報	コミュニケーション英語I	音楽I	総合A	総合B	ロングホームルーム
2年	現代文A	言語II	数量II	世界史A	物理基礎	生物基礎	体育	保健	コミュニケーション英語II	進学・進路選択講座I	進学・進路選択講座II	総合A	総合B	ロングホームルーム
3年	現代文B	日本史A	現代社会	家庭基礎	科学と人間生活	体育	英語表現I	美術概論	進学・進路選択講座III	進学・進路選択講座IV	進学・進路選択講座V	総合A	総合B	ロングホームルーム

● 必修・共通履修科目群 ● 進路とキャリアにかかわる科目群 ● 選択科目群 ● 総合学習の科目群

VOICE

人のために役に立てる嬉しさを実感



以前の自分は何事にも中途半端で、人との関係もどこかであきらめていました。旭丘高校で思い切ってホームルームの班長に立候補して活動しました。活動するなかで、こんな自分でも人の役に立てると嬉しさを感じ、自分たちの働きかけに応じてくれるクラスの仲間への信頼を覚えました。クラスや仲間と責任を持って行動しようとする自分を発見したときには、自分が少し誇らしく思え、自分が好きになりました。

普通科一般クラス 2年生 赤坂 優樹さん

Graduate's VOICE

学ぶことの意味をつかんで見出した進路



中学生のときには、かなり控えて人と話すことも苦手だった私ですが、旭丘高校でホームルームや生徒会の活動を通してさまざまな人たちと共同する活動のなかで、少しずつ自信がついていきました。そうした出会いや体験を通して、学ぶことは人と自分を比べるのではなく、みんなが抱える課題を共に解決していくためにこそあるんだというふうな自分のとらえ方が変化し、障害がある子どもたちの教育に関わりたくて大学に進みました。

2014年度卒業生 羽原 美雪さん(帝京平成大学現代ライフ学部 卒業)

VOICE

学び直しで積極的になれた



僕は数学でつまづき、分からないまままで高校に入ってきたのですが、あらためて数式の意味を実際の物事や生活と結びつけて教えてくれる旭丘の授業でよく分かり、「学び」ってなんだろうと考えました。小学校のころの算数はできていたけれど、今から思うと理解しないまま、暗記していただけ。だから中学校でつまづいたのだけど、高校で学び直しでできたことであらためて学習全般に積極的に取り組めるようになりました。

普通科クリエイティブクラス 1年生 千葉 翔太さん

VOICE

楽しく頭が働く班学習



旭丘では、班で活動する授業が多いのも、学習が楽しい理由の一つです。みんなで意見を出し合って英文を作成したり、社会科学などでは一つのテーマについて班で話し合い発表します。班学習だと普段発言しないような人も意見を出したり、他の班の意見を聞いて考えが深まります。ただ話を聞く授業より頭が活発に働きます。こうした活動に慣れてくると数学などで分からない問題も、恥ずかしがらずに自然と友だちに聞けるようになります。

普通科クリエイティブクラス 2年生 成田 達也さん

INTEGRATED COURSE

総合学科

- ▶ 大学進学・学業進学(ジェネラル)クラス
- ▶ 大学進学・スポーツ進学クラス
- ▶ 進路探求クラス

自分に適した学びを見つけ
確かな進路を切り拓く



大学進学・学業進学(ジェネラル)クラス

大学進学を目指して学びを充実させる

クラスの特徴

- 大学や短大への進学を目標に、高校3年間を過ごす人たちのためのクラス。
- 大学進学のための基礎となる英語・国語が共通履修科目として増単位。
- 2・3年次の選択科目で受験対策やそれぞれの進路に合った科目を選択。
- 一般入試・推薦入試・AO入試など多様な入試制度を活用し、一人ひとりに合ったキャリア・ガイダンスが受けられます。

大学進学・学業進学クラスは、進学の基礎となる科目に重点を置き、
普通科の教育課程を学びたい人にも門戸を開きます。

大学進学・学業進学(ジェネラル)クラスは、英数国などの進学の基礎となる科目を重点的に学ぶカリキュラム構成になっています。将来自分の就きたい職業を見出すことにより上級学校で学ぶ分野を決めていく新しいキャリア教育が特徴です。選択科目を工夫することで普通科の教育課程が履修できると同時に、特別奨学生の対象にもなっています。

特別奨学生制度

総合学科進学クラスには、特別奨学生制度が用意されています。卒業後に大学進学をする人を対象にしたもので、高校3年間の入学金・施設拡充費と授業料について給付型の奨学金が支給される制度です。奨学金制度には、「学業成績にかかわる特別奨学生制度」と「スポーツ実績と個性(一芸)にかかわる特別奨学生制度」の2種類あります。

▶ 一般受験で文科系大学への進学を目指す人の学習モデル(大学進学・進学クラス)

1年	産業社会と人間	国語総合	コミュニケーション英語Ⅰ	数学Ⅰ	化学基礎	体育	保健	社会と情報	総合技術Ⅰ	受験の英語Ⅰ	総合B	ロングホームルーム		
2年	現代文B	コミュニケーション英語Ⅱ	世界史A	日本史A	体育	科学と人間生活	総合技術Ⅱ	時事問題	日本史概論	総合国語Ⅰ	総合英語Ⅰ	受験の英語Ⅱ	総合B	ロングホームルーム
3年	現代社会	体育	家庭基礎	芸術選択	総合国語Ⅱ	古典講読	総合英語Ⅱ	受験の英語Ⅲ	課題研究(地方紙の編集部で体験学習)		総合B	ロングホームルーム		

● 必修・共通履修科目群 ● 進路とキャリアにかかわる科目群 ● 選択科目群 ● 総合学習の科目群



大学進学・スポーツ進学クラス

体育・スポーツ・健康分野の学びを深め進路を拓く

クラスの特徴

- 総合学科カリキュラムの特徴を生かし、選択科目を多く配置。
- 普通科目群と体育・スポーツ・健康分野の科目群をバランスよく履修・習得。
- 体育・スポーツ・健康分野の科目はそれぞれの専門性を生かした授業を展開。
- カリキュラムを工夫し、午後の専門的実技の授業と部活動を連動し一体化。
- 高校での部活動を支える、自らの身体ケアについての学習も履修・習得。

新たに開講された、スポーツ進学クラス・カリキュラムの特徴

- 選択科目を多数用意した総合学科カリキュラムの特徴を生かし、「①大学進学のための基礎となる普通科目群」と「②体育・スポーツ・健康分野の科目群」をバランスよく履修・習得できるようになっています。
- 体育・スポーツ・健康分野の科目では、「科学的なトレーニング実践」「基礎理論(身体科学)」「専門的実技(実践)」「スポーツと進路に係る学習」などの内容の科目を用意しています。
- カリキュラムを工夫することで、午後の専門的実技の選択授業とクラブ活動を一体化し、地域連携や外部講師も活用して学習・トレーニング活動を実施します。
- 高校でのクラブ活動を支える上で、重要な各自の身体のケアについての学習も行います。
- ※ 総合学科には、スポーツ進学クラスのほかに、健康・スポーツ分野の教科目を多数履修することが可能なスポーツ系列分野があります。

▶ スポーツ進学クラスで3年間を過ごす人の学習モデル(大学進学・スポーツ進学クラス) ※一部開講予定科目

1年	産業社会と人間	国際総合	数学Ⅰ	化学基礎	体育	保健	コミュニケーション英語Ⅰ	社会と情報	基礎体力Ⅱ(科学的トレーニング)	スポーツ実習Ⅰ	武道Ⅰ	総合B	ロングホームルーム
2年	現代文B	コミュニケーション英語Ⅱ	世界史A	日本史A	体育	家庭基礎	基礎体力Ⅱ(科学的トレーニング)	スポーツ実習Ⅱ	総合選択講座	武道Ⅱ	スポーツ特別講座Ⅱ	総合B	ロングホームルーム
3年	現代社会	体育	科学と人間生活	芸術選択	基礎体力Ⅲ(科学的トレーニング)	スポーツ実習Ⅲ	武道Ⅲ	総合選択講座	スポーツ特別講座Ⅲ	課題研究(進路とかわるインターンシップ)	総合B	ロングホームルーム	

● 必修・共通履修科目群 ● 進路とキャリアにかかわる科目群 ● 選択科目群 ● 総合学習の科目群

VOICE

選択講座で身についた文章力



国語の力に自信がなかった私は、2・3年と総合国語の選択講座を受講しています。先生が基礎と復習を徹底してやってくれて、「できる」という手ごたえをつかみ、いまは、小論文指導を受けています。以前は文章の形だけにたわらわっていた私ですが、やはり、まず自分が何を表現したいのかをしっかりとつかみ整理すること、どうしたら相手に伝わるかという読み手の立場で考えることなど、文章作成についてさまざまな捉え直しができている。

総合学科学業進学クラス 3年生 高橋 京嗣さん

Graduate's VOICE

高校で培った対話し、討論する力



言葉や文化の違う中国の高校生と交流できた体験は、とても嬉しく自信になり、大学への進路につながりました。いま大学の授業を受けていて私が思うのは、自分の意見を表現し相手の考えを受け止めて対話し、討論する力は他の学生に引けをとらないということです。これは旭丘高校でホームルームや学年の活動、全学協議会や公開まちづくりシンポジウムなどに参加しさまざまな人々と触れ合うことを通して育ててもらった力だと実感しています。

2015年度卒業生 北野 絵里花さん(東洋大学文学部 3年生)

VOICE

スポーツ関係の施設に感動



私は久野・荻窪キャンパスのトレーニングルーム、ボルダリングウォールなどのスポーツ関係の設備に感動し、旭丘高校のスポーツ進学クラスに入学しました。中学より発展した授業や活動ができることにワクワクしています。高校では専門の陸上の走り幅跳びで、インターハイを目指して、まずは神奈川県で優勝できるように頑張ります。そして、将来は高校での学びを生かしてスポーツを専門に学べる大学への進学を目指します。

総合学科スポーツ進学クラス 1年生 松森 玲奈さん

POINT

スポーツ進学クラスは、こんな生徒にお勧め

このクラスでは、2つのタイプの生徒の学びと進路実現を図ります。1つ目は、旭丘高校の重点クラブに所属し、高校時代に全国大会出場などの戦績をあげることに挑戦し、その実績をもとに推薦で大学への進路を拓く「アスリート」タイプの生徒です。2つ目は学業とスポーツの両面で充実した高校生活を過ごすことを通して、指定校推薦やAO入試などを活用して大学に進学し、スポーツに関連する専攻分野(例えば、栄養・健康・身体科学・保育・福祉・医療・社会教育・国際交流など)を学び、将来の職業につなげたいと願う生徒です。



ASAHIGAOKA POINT ユニークな授業・カリキュラム

POINT 1 スポーツ進学クラスの中心科目
「基礎体力」「武道」「スポーツ実習」

スポーツ進学クラスには、中心核となる3つの学校設定科目があります。

- 「基礎体力」
機器を使った科学的なトレーニングを通して自らの身体の仕組みを知ること、スポーツが人間の身体や健康に果たす役割を自覚するとともに、それぞれのスポーツ種目に合わせた身体づくりをしていきます。
- 「武道」
修養的・鍛練的な目的を持つスポーツ分野であることを踏まえ、日本の伝統文化への理解と関心を深めながら、技の修得だけでなくスポーツマンとして、人間としての自己形成の土台をつくります。
- 「スポーツ実習」※毎週水・金曜日 午後
学校外の体育施設を活用したり、大学を訪問して教授や学生からの指導を受け、専門分野に関わる活動を行います。野球、バスケットボール、陸上、相撲のほか、その範囲は今後も拡充されていきます。

VOICE

自分の身体に合わせてトレーニング-「基礎体力」の授業の感想-
ラットプルダウンやスクワット、ベンチプレスなど、実際にトレーニングマシンを使い分けて学んでいく中で、筋肉の使い方や運動後の疲れ方など、改めて発見することが数多くありました。同時に、自分自身のフォームの修正や使用機器の調整などを含め、身体で感じ、目で見ながら筋力と体力を確認することができたので、今後のトレーニングに生かしていこうと思っています。
総合学科スポーツ進学クラス 1年生 大草 りくさん

VOICE

自分の身体能力を伸ばせると実感
スポーツ進学クラスでは、水曜日と金曜日の午後のスポーツ実習の授業と部活動の時間が連続していて、長時間トレーニングができるのが魅力です。特に大会の前日の金曜日に集中した練習ができることで試合で力を発揮することができました。また、ランポリンを用いて体幹を鍛えバランス感覚を養うなど、他の学校にはないような授業があり、自分の身体能力を伸ばせると実感しています。授業も分かりやすく、文武両道で頑張れます。
総合学科スポーツ進学クラス 2年生 野地 高良さん

POINT 2 多様で多彩な授業を展開
総合選択科目・自由選択科目

総合学科で主に2・3年次に履修する総合選択科目・自由選択科目群の中には、普通科目のほかに、福祉・保育や簿記・会計、コンピュータ、自然環境、国際理解、健康、職業と技術などに関するさまざまな科目が配置され、生徒のみなさん一人ひとりが自分の学びの関心や進路の課題に合わせて選択し、オリジナルの学習計画を立てて学んでいくことができます。

- グローバル教育に関する講座も充実
旭丘高校の選択科目には、現在「中国語初級」「中国のこぼれ文化」「初級韓国語」「イタリア語」「モンゴルのこぼれ文化」「異文化理解」が開講されるとともに今後更に国際化に対応したカリキュラムの進化・充実が予定されています。

VOICE

選択講座には将来の生きる力に繋がる学びが
「異文化交流講座」では、グループで文化について調べて発表することで、自分なりの表現ができる楽しさを知りました。「器学講座」では、両手でピアノを演奏できる喜びを知り、音楽に一層興味を抱くようになりました。「武徳」では剣道を通して、精神を落ち着かせるための呼吸法や礼儀作法から相手を敬う気持ちを知りました。選択講座には、将来の生きる力に通じるたくさんの学びがありました。
総合学科科学進学クラス 2年生 森田 誠司さん

VOICE

王菲先生の「中国語初級」を受講して
王先生は明るく優しい先生で、身近な生活の中から題材を選んでくださるので、とても分かりやすいです。また、語学だけでなく中国の文化や日本とのつながりなども教えてくださいました。日常会話ができるようになると、王先生と廊下で会った時には中国語で話しかけたりしています。大学には中国からの留学生も多いので、卒業後もこの講座で学んだことを生かせるのではないかと期待しています。
総合学科スポーツ進学クラス 3年生 櫻澤 紫乃さん



パン屋さんで製造・販売体験(3年次・課題研究)

進路探求クラス

自分に適した学びを見つけ、確かな進路を拓く

- クラスの特徴**
- 1年次に基礎的・基本的な知識・技能を習得。
 - 2・3年次に応用・発展的な幅広い総合・自由選択科目群を履修。
 - 情報、ビジネス、国際、福祉、アート、スポーツなど、分野別の学習が可能。
 - カリキュラムを通して言語、数量、情報、身体に関わる学習を重視。
 - 自分の進路に合わせて科目を自由に選択。

▶ 推薦で情報系の大学や専門学校への進学を目指す人の学習モデル(総合学科進路探求クラス)

1年	産業社会と人間	国語総合	数学Ⅰ	化学基礎	体育	保健	コミュニケーション英語Ⅰ	社会と情報	簿記	総合技術Ⅰ	ビジネス情報処理Ⅰ	総合B	ロングホームルーム		
2年	世界史A	日本史A	科学と人間生活	体育	家庭総合	総合技術Ⅱ	プログラミング入門	マルチメディア活用Ⅰ	情報の活用Ⅰ	ビジネス情報処理Ⅱ	資格の簿記Ⅰ	流通経済入門	探求英語	総合B	ロングホームルーム
3年	現代社会	体育	家庭総合	芸術選択	プレゼンテーション	マルチメディア活用Ⅱ	情報の活用Ⅱ	資格の簿記Ⅱ	マーケティング入門	経営分析Ⅱ	課題研究(コンピュータ事務作業を体験)	総合B	ロングホームルーム		

▶ 保育や福祉の仕事に就くために短大や専門学校に進学する人の学習モデル(総合学科進路探求クラス)

1年	産業社会と人間	国語総合	数学Ⅰ	化学基礎	体育	保健	コミュニケーション英語Ⅰ	社会と情報	簿記	総合技術Ⅰ	からだⅠ	総合B	ロングホームルーム		
2年	世界史A	日本史A	科学と人間生活	体育	家庭総合	総合技術Ⅱ	社会福祉基礎Ⅰ	社会福祉援助技術Ⅰ	総合演劇	調理	保育	探求国語Ⅰ	探求英語Ⅰ	総合B	ロングホームルーム
3年	現代社会	体育	家庭総合	芸術選択	社会福祉基礎Ⅱ	社会福祉援助技術Ⅱ	食と農	被服の基礎	探求国語Ⅱ	探求英語Ⅱ	課題研究(インターシップ)(福祉施設などで体験実習)	総合B	ロングホームルーム		

● 必修・共通履修科目群 ● 進路とキャリアにかかわる科目群 ● 選択科目群 ● 総合学習の科目群

VOICE

働くことの意味や社会の仕組みを考えた
総合技術の「ブリッジ・コンテスト」の授業は、とても印象に残っています。班ごとにつくった橋の模型にペットボトルを吊るし、どれだけの重さに耐えられるかを競い合うのです。ドキドキしながら皆が集中し、すごい熱気でした。壊れた橋を調べてどこがいけなかったのか考えたり、共同作業のプロセスを振り返ったりしました。そうしたことを通じて、働くことの意味や社会の仕組みと結びつけて技術を学ぶことができました。
総合学科進路探求クラス 1年生 弘中 沙穂さん

Graduate's VOICE

違う意見があるからこそ発展がある
以前は否定されることが怖くて自分と違う意見の人を避けていた私ですが、班長や生徒会総務としての活動をする中で相手の意見を受け入れられるようになりました。それは、違う意見があるからこそ物事が発展したり考えが深まること、自分の中で意識が変わったからです。そんな自分の変化と福祉施設での職場体験から、今は、話す・聴くなどのコミュニケーションにハンデを抱える人を支援する言語聴覚士になるために大学で学んでいます。
2018年度卒業生 林 莉花さん(帝京平成大学健康メディカル学部 1年生)

BASIC CLASS

ベーシッククラス

▶ 普通科・総合学科共通クラス

自分のペースで一步ずつ前進
「不登校」からの学び直し



ベーシッククラス

不登校生徒の発達保障を図る

クラスの特徴

- 30人以下の少人数編成で全日制高等学校のカリキュラムを基に展開。
- 2・3年次に進級する際、通常（一般）クラスに移行することが大きな目標。
- 「ことばと交わり」「からだ」「基礎の数学」を学校設定科目として配置。
- ホームルーム活動を基盤として、生徒一人ひとりの成長と発達を図る。
- 学校参加・社会参加を通しての「キャリア教育」を重視。

▶ 普通科ベーシッククラスのカリキュラム

1年	産業社会と人間	国語総合	地理A	数学I	体育	保健	社会と情報	コミュニケーション英語I	基礎の数学	ことば・交わりI	からだI	総合B	ロングホームルーム	
2年	現代文A	世界史A	日本史	数学II	体育	化学基礎	コミュニケーション英語II	書道I	家庭基礎	総合技術	ことば・交わりII	からだII	総合B	ロングホームルーム
3年	現代文B	現代社会	数学III	体育	科学と人間生活	芸術選択	進路特別講座	工作	農作	ことば・交わりIII	からだIII	総合B	ロングホームルーム	

▶ 総合学科ベーシッククラスのカリキュラム

1年	産業社会と人間	国語総合	地理A	数学I	体育	保健	社会と情報	コミュニケーション英語I	基礎の数学	ことば・交わりI	からだI	総合B	ロングホームルーム
2年	世界史A	化学基礎	日本史	体育	家庭基礎	総合技術	総合選択科目	ことば・交わりII	からだII	総合B	ロングホームルーム		
3年	現代文B	科学と人間生活	体育	芸術選択	総合選択科目	総合選択科目 課題研究(インターンシップ)	ことば・交わりIII	からだIII	総合B	ロングホームルーム			

● 必修・共通履修科目群 ● 学校設定科目群 ● キャリア教育 ● 進路とキャリアにかかわる科目群 ● 選択科目群 ● 総合学習の科目群

VOICE

人のことを考えられる自分になった

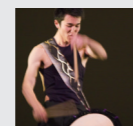


自分の中で一番変わったのは、周りの人のことを考えるようになったことです。今まで人とかかわって誰かのことを思うというのが少なかったのですが、高校に入って、クラスの仲間の一人ひとり性格や考え方が違うなかで、どうかわるか、そこを深く考えることを学びました。まだコミュニケーションをとるのは少し苦手ですが、同じ悩みを抱えている子たちがクラスにたくさんいて、分かり合えるという安心感があります。

ベーシッククラス 1年生 本多 李奈さん

Graduate's VOICE

人の役にたつ喜びと責任の重さを知った



不登校を体験した先輩たちが自分の変化を生きて語る姿に惹かれて入学しました。班長や学年委員の活動を通して、友達のこと自分のことも以前より大きな目で見るできるようになりました。HRや学年、和太鼓部の活動、3年次に箱根小湧園で行ったインターンシップなどを通して、人の役にたつ喜びとともに集団や社会の中での責任の重さを知りました。いま大学で、小学校教員を目指し、教育実習を終えたところです。

2014年度卒業生 古本 健優さん(和光大学現代人間学部 4年生)

ASAHIGAOKA POINT ユニークな授業・カリキュラム

POINT 1 ベーシッククラスの人気授業 「からだ」「ことば・交わり」

久野・荻窪キャンパスを流れる川にみんなで飛び込む、森林の中の静かな空間で木の枝をナイフで加工しペーパーナイフを作る、睡眠のリズムと脳の働きについて知る、ボディ・バランスチェックで自分の背骨の歪みに気づく…。「からだ」の授業を通して生徒たちは、自分の身体と心の人や自然との関わりの中で捉え直し、新しい自分づくりに挑戦しています。また、「ことば・交わり」の授業では、生徒たちが共同で活動し関わり合う中で、言語活動を豊かに作り出し、他者と自己を理解し、その関係を深めています。

POINT 2 地域が学校 おだわらのまちが教室 「課題研究」(インターンシップ)

3年次には、地域での職業体験学習が年間を通じた授業として必修化されています。5月にオリエンテーションを行い、6月から12月まで毎週1日同じ職場で働く体験をしながら、実習ノートに体験先の方のコメントをもらい、先生方からも指導を受けます。3学期にはそれぞれの職場での交流を通して職業観・労働観を培い、体験してきた学びについて発表し、働くことに必要な専門性が身につく学びへの認識を深めます。なお、普通科にも「社会見学」があり、同様に職業観・労働観を培う場となっています。

Graduate's VOICE

言葉一つひとつの大切さに気づいた



「からだ」や「ことば・交わり」の授業を通して自分が成長したと思うのは、だれかと関わり助け合うことを自分からするようになったこと。そして、心が解放されているという感覚がどのようなことなのか、理解できるようになったことです。言葉は人を傷つけることもできてしまうので、相手にかける言葉一つひとつを、一度自分の中で探る過程がすごく大切だと気づきました。これからの授業で、もっとコミュニケーション力をつけたいと思います。

卒業生 I.Mさん

Graduate's VOICE

進路の基礎を築いてくれた農業体験

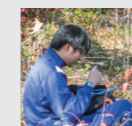


インターンシップでしか体験できないことに挑戦したいと思い、牧場体験を選択しました。ご主人に農業の大切さを教えていただいたとき「地味な仕事が多いが、根気強さが一番だよ」と言われたことがとても印象に残っています。仕事をしてお金を貰うこと、自分の意思を相手に伝えること、自分の感情に負けない我慢すること、仲間と協力すること、それらの大切さを改めて実感しました。この気持ちを将来への軸にして、自分の夢を追いかけたいと思っています。

卒業生 S.Kさん

Graduate's VOICE

色々な体験や発見で気持ちが変わる



「からだ」の授業を通して、前よりもイライラしなくなったことが自分の中の一番の変化です。森を少し歩くだけで心も身体も落ち着くし、色々な体験や発見でこんなにも気持ちが変わるんだと実感できました。森の中でペーパーナイフを作ったときは、みんなそれぞれの個性が出て面白く、ほかの人と見比べたりすることも楽しかったです。普段あまり話さない人も話す機会があり、アドバイスし合うこともできてとてもいい刺激になりました。

卒業生 T.Yさん

● 体験先の方の声

今年度、本園では2名の生徒さんを受け入れました。子どもを笑顔で受け止めたり、子ども達の踊る姿を見て「上手になったね」と褒めたり、体験学習が始まった当初の姿からは想像ができていくくらい明るく自然に子ども達と触れ合いながら園児と共に成長する姿を見て、私達職員もとても励まされました。園児と触れ合ったときの温かい気持ちを忘れず、色々なことにチャレンジし、さらに成長して行ってほしいと思います。

(M幼稚園 園長先生)

進路実績

CAREER ACHIEVEMENTS

大学

亜細亜大学
桜美林大学
神奈川大学
神奈川工科大学
鎌倉女子大学
関東学院大学
恵泉女学園大学
國學院大学
国士舘大学
駒澤大学
駒澤女子大学
埼玉学園大学
相模女子大学
産業能率大学
淑徳大学
順天堂大学
城西国際大学
城西大学
湘南工科大学
松蔭大学
女子美術大学
白梅学園大学
杉野服飾大学
専修大学
大東文化大学
高千穂大学
宝塚大学
多摩大学
玉川大学
鶴見大学

帝京大学
帝京科学大学
帝京平成大学
田園調布学園大学
桐蔭横浜大学
東海大学
東京工科大学
東京工芸大学
東京理科大学
東京女子体育大学
東京富士大学
東洋大学
東洋学園大学
日本体育大学
日本文化大学
文教大学
明治学院大学
明星大学
目白大学
ヤマザキ動物看護大学
横浜創英大学
横浜商科大学
横浜美術大学
横浜薬科大学
立正大学
和光大学

短期大学

和泉短期大学
小田原短期大学
鎌倉女子大学短期大学

湘北短期大学
高山自動車短期大学
鶴川女子短期大学
帝京短期大学
東京立正短期大学
日本大学短期大学部
文化学園大学短期大学部
目白大学短期大学部
山野美容芸術短期大学

専門学校

崎村調理師専門学校
大原学園
かなテクカレッジ
厚木調理師専門学校
日本工学院専門学校
湘中央生命科学技術専門学校
東京IT会計法律専門学校
湘南ウエディング専門学校
横浜リゾート&スポーツ専門学校
横浜ビューティーアート専門学校
横浜調理師専門学校
横浜デジタルアート専門学校
国際フード製菓専門学校
情報科学専門学校
横浜fカレッジ
日本電子専門学校
読売自動車専門学校
横浜高等教育専門学校
鎌倉早見美容芸術専門学校
横浜実践看護専門学校

湘南平塚看護専門学校
新宿調理師専門学校
尚美ミュージックカレッジ
山野美容専門学校
湘南歯科衛生士専門学校
町田調理師専門学校
東京工科自動車大学校
横浜こども専門学校
日本ガーデンデザイン専門学校
北里大学保健衛生学院
ホスピタリティツーリズム専門学校
神奈川社会福祉専門学校
武蔵野栄養専門学校
アルファ医療福祉専門学校
横浜スイーツ&カフェ専門学校
横浜美容専門学校
日産自動車大学校
東京モード学園
アーツカレッジ横浜
町田福祉保育専門学校
産業技術短期大学校
デジタルアーツ東京専門学校
東京商科法科学院専門学校
日本動物専門学校
横浜ファッションデザイン
聖ヶ丘教育福祉専門学校
東京栄養食糧専門学校
白寿医療学院
横浜テクノオート専門学校
富士メカニック専門学校
町田デザイン専門学校
読売理工医療福祉専門学校

米山電子工業
肉の石川
田中モーターズ
諸星産業株式会社
野口リゾート山水楼
アサヒロジスティクス株式会社
福山通運株式会社
大日産業株式会社
MYコミュニケーション
株式会社文明堂
株式会社やまか
泰平商事
ワールドアズパートナーズ
武部鉄工所
God Hands Avan
日研トータルソーシング
株式会社ビックライズ
日本化工塗料株式会社
神奈川ダイカスト株式会社
株式会社テラオカビジネス
株式会社メガネスーパー
株式会社東海ホテルメンテナンス

小田原衛生美化サービス
株式会社葦
井上運送株式会社
羽田空港サービス株式会社
有限会社KKI製造部
株式会社セノン
日本トーカーパッケージ株式会社
株式会社東京BK
オーエスピー
フジダン
株式会社アサヒ製作所
山和食品株式会社
インターナショナル・トイレット紙株式会社
神奈中スポーツデザイン
足柄乳業株式会社
横浜ゴム株式会社
宝製菓株式会社
株式会社アサンテ
石川紙器製作所
スタッフ

その他

主な就職先

市光工業株式会社
東洋水産株式会社
紀伊産業株式会社
日本郵便株式会社
山崎製パン株式会社
日本発条株式会社
ヤマト運輸株式会社
共同印刷株式会社
株式会社アベストミヤケ
熱海伊豆の海の郷
神奈川社会福祉事業団
社会福祉法人東洋会
小松会病院
社会福祉法人憩
社会福祉法人三栄会
株式会社ヤマガタ鉄筋
有限会社原鉄筋
ランテック
株式会社エイケイプレス
株式会社キューソーエルプラン

日本梱包運輸株式会社
日本プレス工業
白洋舎
有限会社アリスクリーニング
株式会社ビッグモーター
諸星運輸株式会社
おんやど恵
株式会社ホテルおかだ
株式会社環翠楼
株式会社大滝ホテル
有限会社河鹿荘
有限会社弥栄館
吉池旅館
株式会社ミヤザワ
古河電工産業電線株式会社
サンデリカ
柴橋商会
静科
太陽湘南コンクリート株式会社
ちほりチボー
日本エアフィルター株式会社
日本ベストミート株式会社

授業料・学費支援制度

SCHOOL EXPENSES & SUPPORT SYSTEM

旭丘高校は「無償教育」の考え方が基本です

私立高校への手厚い「学費支援制度」で学費の不安や悩みは解決!

後期中等教育（高等学校段階）での学費無償化導入は、国際人権規約第13条にも定められています。旭丘高校は子どもを「社会の宝」とし、国民みんなでお金（税金）と力を出し合って未来の主権者を育てていく「無償教育」の考え方を学校運営の理念としています。「無償教育」の考え方のもと、学園・保護者・同窓生・地域で協力し、国や県の就学支援制度・学費補助制度を充実させる運動に取り組んできました。

Q 公立高校の授業料は年収約910万円未満の世帯は実質無償化になっていますが、私立高校の学費負担は軽減されないのでしょうか？

A 国の費用により、私立高校などの生徒の授業料に充てる「就学支援金」が、年収約910万円未満の世帯には一律に年額118,800円（月額：9,900円・公立の授業料分相当の額）が支給され、また、保護者の所得によってさらに加算額（年収250万円未満程度は2.5倍、年収250～350万円未満程度は2倍、年収350万円～590万円未満程度は1.5倍）が支給されます。また、その他にもさまざまな支援制度があります。（右記参照）

Q 私立高校生への県からの「学費補助金」について教えてください。

A ①前年の所得金額が一定額以下の保護者に対して、県が補助します。②対象者は、神奈川県内の私立高校に在学し、かつ生徒と保護者が共に県内に在住していることが条件になっています。③「就学支援金」と併用して利用できますので、この「学費補助」と合わせ、所得区分に応じて、年額最大396,000円から193,200円の幅で支援されます（学校の授業料額が上限です）。

Q 授業料負担がかなり軽減されることは分かりましたが、「入学金」や「施設拡充費」の支援策はないのですか？

A 授業料だけでなく、入学金についても「学費補助金」として100,000円が支援されます。また、「社会福祉協議会教育支援資金」や「母子父子寡婦福祉資金」の制度では、入学準備のための公的支援（貸付）も受けられます。

■その他にこんな制度があります

- ①「神奈川県高等学校奨学金」制度（貸与制）一月4万円
- ②「神奈川県私立学校生徒緊急支援補助金」制度（給付制）
- ③母子父子寡婦福祉資金（貸与制）
- ④社会福祉協議会・生活福祉資金
- ⑤国の教育ローン
- ⑥その他の奨学金制度—あしなが育英奨学金など

※旭丘高校独自の「新名奨学金制度」もあります。年間14万4000円を貸与。卒業後2年間以内に返還する制度です。

■年収約590万円未満の世帯は、授業料が実質無償に

ここに紹介した国の就学支援金制度と県の私立高等学校等生徒学費補助制度を活用することで、旭丘高等学校でかかる授業料は、年収590万円未満程度の世帯に対しては授業料が実質無償に、年収590～750万円程度の世帯では月額16,900円、年収750～910万円程度の世帯では月額23,100円に軽減されます。また、県内に在住の場合には、年収約750万円未満の世帯の方に対して入学金に対して県から100,000円の補助が受けられます。旭丘高校では、入学金や施設拡充費等、入学時納入金の準備が困難な方に、さまざまな学費支援制度を紹介し、このような制度の活用によって納入の見通しが立った場合には、入学時納入金の延納措置についても相談に応じています。詳しくは、体験入学セミナーや学校説明会の機会にご相談いただくか、入試センターへお問い合わせください。



SCHOOL EVENTS

年間行事 仲間と共に過ごす、高校3年間

EVENT CALENDAR

April	4 May	5 June	6 July	7 August	8 September	9
<ul style="list-style-type: none"> 入学式 (新入生オリエンテーション) 身体測定 内科検診 歯科検診 	<ul style="list-style-type: none"> クローバー祭 (体育祭) (進学者オリエンテーション) 進路適性検査 PTA総会 	<ul style="list-style-type: none"> 中間試験 (就職オリエンテーション等) ホームルーム懇談会 進路講演会 新聞コンクール 	<ul style="list-style-type: none"> 期末試験 全学協議会 地域教育懇談会 視聴覚教室 避難訓練 クラブ合宿 	<ul style="list-style-type: none"> 全学教育研究集会 (第1部) 平和集会 クラブ合宿 	<ul style="list-style-type: none"> 就職活動 修学旅行 (2年) 社会見学 (1・3年) 	
October	10 November	11 December	12 January	1 February	2 March	3
<ul style="list-style-type: none"> 中間試験 PTS (三者教育懇談会) 	<ul style="list-style-type: none"> クローバー祭 (文化祭) 全学教育研究集会 (第2部) 	<ul style="list-style-type: none"> 期末試験 全学協議会 スキー教室 視聴覚教室 生徒総会 	<ul style="list-style-type: none"> かるた会 全学教育研究集会 (第3部) 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業試験 卒業を祝う会 PTA総会 進路適性検査 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業式 年度末試験 生徒総会 	

PICK UP EVENTS

みんなの笑顔は最高の思い出

3年生のときの体育祭では、生徒の要求によって応援合戦の時間が取り入れられました。そのことで、運動が苦手な生徒でも体育祭などの行事が嫌いな人でもみんなクラスが一丸となり体育祭をやれたと思います。体育祭の20人21脚はクラスで一生命練習し、早く走れるようになり「これなら一位をねらえる」と思ったのですが、本番で大転倒してしまい、残念な結果でした。しかし、終わった後のみんなの笑顔は最高の思い出になりました。将来、私はクラスや部活の経験を生かし、幼稚園教諭になることを目指しています。子どもたちにはスポーツの楽しさやコミュニケーションの大切さを伝えたいと考えています。



核兵器のない世界へ 一筋の「光」を胸に

「人類と核兵器は共存することができない」—ナガサキで出会った谷口ゼミの穂峰さんの言葉が強く心に残っています。その後、核兵器禁止条約の国連採択、ICAN・核兵器廃絶国際キャンペーンがノーベル平和賞を受賞。その授賞式で被爆者のサーロー節子さんが行った演説を英語の授業で知りました。72年前、閉じ込められた瓦礫の中で見えた一筋の「光」、そしていま、核の恐怖という闇から抜け出すために核兵器禁止条約という「光」を世界中の人々と分かち合いたいとした訴えは、私の心に大きな感銘と勇気を与えました。私も、平和や人権・核廃絶といった人類にとって大切な価値を守る小さな一人として生きていきたいと決意しています。



みんなで協力して成し遂げることの感動

文化祭の企画づくりでクラスがまとまったことが高校生活の大切な思い出です。私たちは、平和への思いを込めて、巨大鶴を作成しました。模造紙20枚以上を貼り合わせ、教室いっぱいに羽を広げる折鶴です。班長会で話し合って計画を立て、クラスで役割分担をし、息を合わせながら協力してつくり上げ、完成したときは、皆で手を叩いて喜びました。展示を見に来てくれた人にも評価され、見事に賞を取ることができました。協力して成し遂げることの感動や積極的に取り組むことの大切さを学ぶことができました。



90人のボランティアで支えた大相撲小田原場所

旭丘高校では5月の北条五代祭や6月の山王川・久野川一斉清掃など地域の行事やボランティアに参加する機会がたくさんあります。昨年8月の大相撲小田原場所では、旭丘高校の生徒たちが90人のボランティアで開催を支えました。僕は前日の土俵づくりを担当し、土俵に盛る土を一輪車で何度も往復して運びました。一つのイベントの裏にたくさん大変な作業があると知れたことは将来への貴重な体験でした。地域の方からの「旭丘の生徒がいなかったらできなかつたね」の言葉に、誇らしい気持ちになりました。





C L U B A C T I V I T I E S

クラブ活動



SPORTS

運動部一覧

剣道部	卓球部	ボウリング部	相撲部
バスケットボール部	ダンス部	バレーボール部	ラグビー部
ソフトテニス部	陸上部	バドミントン部	AFC(釣り)同好会
硬式テニス部	野球部	水泳部	バトントワリング同好会
弓道部	サッカー部	カヌー部	女子フットサル同好会

CULTURE

文化部一覧

合唱部	簿記部	演劇部	農芸部
軽音楽部	美術部	陶芸部	児童文化部
家庭部	イラスト部	茶道同好会	
吹奏楽部	書道部	交通研究部	
生物部	和太鼓部	ティーコーディネート同好会	

VOICE

仲間との絆が日々の支えに



日々の練習では辛いことも沢山ありますが、励まし合う仲間との絆が支えになっています。最も思い出に残っているのは5月の高校総体県予選です。ここ一番で私の背中を押してくれたのは、仲間の応援と、それまで苦しい練習を積み重ねてきた自分への信頼でした。結果は、自己記録を上回るスローで3位入賞、関東大会初出場を果たすことができました。

陸上競技部 3年生 小松崎 瑠乃さん

いまの自分の力を引き出すこと



昨年11月に受けた書道検定1級の試験ではとても緊張しましたが、「人生80年の内のたった1時間じゃないか」と考えたら心と身体が楽になりました。結果は神奈川県知事賞受賞。こんなふうに見えるのは、書道部の活動を通しての自分への自信が豊かになったからだと思います。上手に書くことよりも、いまの自分の力をどう引き出すかが大切だと考えています。

書道部 3年生 堀尾 千夏さん

PICK UP POINT

地域にも貢献するクラブ活動

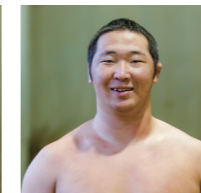
旭丘高校のクラブは、地域の行事やボランティアにも貢献しています。真鶴・岩龍宮祭や曾我の傘焼きまつりなど地域ぐるみで開催される多くのお祭りや催し物では、相撲部がちびっこ相撲の指導をし、吹奏楽部が出演。幼稚園や保育園での相撲指導、クリスマスなどのコンサートにも招かれています。また、野球部は毎朝お城通り商店街の清掃ボランティアに継続して取り組み、山王川・久野川一斉清掃活動にも部をあげて参加しています



全国大会で活躍するモンゴルからの2人の留学生



チヨイジルスレンさん



ダライパートルさん

今年6月、ダライパートルさんは関東高等学校相撲大会の個人戦・無差別級で3位に入賞。チヨイジルスレンさんは高校総体県予選大会で優勝し、2年連続でインターハイの出場を決めました。二人とも学業面でも優秀な成績をあげ、日本の大学へ進学を目指しています。

みんなに夢と希望を与えた生徒たちを表彰

学園は、生徒集団の力に支えられて全国レベル・国際レベルで大きな成果をあげた生徒たちを表彰しています。2017年度の表彰を受けたのは、インターハイなどの全国大会や関東大会に出場した相撲部・陸上競技部とボウリング部、神奈川県知事賞を受賞した書道部の生徒、ヒップホップダンス世界大会で2連覇に続き準優勝したチームの生徒、日本最大の美術展「二科展」(絵画の部)に3年連続最年少入選した生徒などです。



JONAI CAMPUS

CAMPUS MAP #01

キャンパスマップ#1:城内キャンパス

緑あふれる史跡との共生。
「小田原のまちが教室」のイメージです。



総合学科ベーシッククラス
1年生
石井 俊貴さん

VOICE

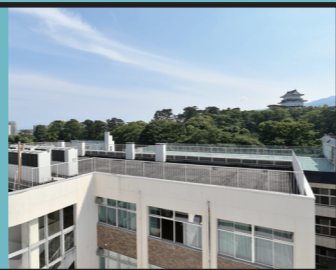
ホールはさまざまな人たちの交流センターに
城内キャンパスの魅力は、第1に小田原駅から徒歩5分、そして校舎は耐震設計がされていて、地域防災倉庫があるなど、安全性にも配慮されています。自慢したい施設は、ホールです。授業や学年集会、文化行事などで僕たちの活動の場になるとともに、全学協議会や全学教育研究集会、まちづくりシンポジウム、日中友好の集いなどに活用され、学校と地域、世界のさまざまな人々の交流の場になっています。



総合学科進路探求クラス
1年生
間瀬 依由菜さん

VOICE

お城と緑に隣り合わせた落ち着いた雰囲気
お城と緑に隣り合わせていることで城内キャンパスは明るく落ち着いた雰囲気になっています。校舎の色々な場所に教室配置などの案内版が設置され、バリアフリー対応で校舎の間を移動しやすいように渡り廊下もたくさんあるなど、使う人に優しくつくられています。私は放課後、1階の渡り廊下に作られたコの字型のベンチに座って、校庭で仲間が活動するのを眺めながら友だちといろんな話をする時間が好きです。



FEATURE

キャンパスの特色

- 小田原駅から徒歩5分
- 史跡の緑に囲まれた校庭
- 小田原城跡内にある冷暖房完備の近代的校舎
- 高校への進学ガイダンスが充実した入試センター・相談室を常時開設
- バリアフリー施設完成
- 地域の防災センターとなる耐震性に優れた建物
- 新名学園私学教育研究所、400人収容の多目的ホールなど、地域の教育・文化センターの機能アップ
- 安心・安全の施設
- 第1、第2校地ともパソコン100台ずつ配備
- 主に普通科の「学び」の根拠地

充実したコンピュータ・情報教育

第1校地・第2校地ともに100台以上のパソコンが設置されています。コンピュータと情報の教育が重視されています。情報・通信機器を使いこなすスキルとともに、パソコンの仕組みや生活、社会的生産に果たしている役割を学びます。



FACILITIES

第1校地の主な施設・設備

- 第1校舎 / 2000年9月完成(エレベーター付4階建て)
 - 1階 ホール・ホワイエ(総合学習・身体表現・地域交流・食事・憩いの場)
 - 2~4階 普通教室・ゼミナール室・新名(百周年)記念会館(会議室・同窓会室、地域防災庫)
- 第2校舎 / 2001年8月耐震改修完了(4階切り取り耐震補強)
 - 地階 生徒会室・PTA・父母懇談会・六者懇談会室
 - 1階 事務室・来賓応接室・入試センター・法人事務室・カウンセリング室・新名学園私学教育研究所
 - 2階 職員室・保護者面談室・放送室・印刷室
 - 3階 普通教室
 - 屋上
- 第3校舎 / 2001年3月耐震強化・改修完了
 - 1階 図書室・調理室
 - 2階 コンピュータ室(Ⅰ)(Ⅱ)・芸術教室(書道・美術)
 - 3階 理科実験室
 - 4階 音楽室・被服室・被服ホール
- 第4校舎 / 1999年8月完成
 - 1~3階 普通教室
 - ※全棟耐震構造化・空調完備 ※バリアフリー施設 2008年4月完成
- 体育館 / 改修2006年度完了
 - 2階建て、器具庫、シャワー室付

KUNO / OGIKUBO CAMPUS



トレーニングルーム



アリーナ



相撲場



剣道場

CAMPUS MAP #02

キャンパスマップ#2: 久野・荻窪キャンパス

自然と共生。
「地域と触れ合う教育システム」

VOICE



総合学科大学進学クラス
1年生
池ヶ谷 雪さん

豊かな自然の中で心が解放される

久野・荻窪キャンパスは、鳥の鳴き声も聞こえてくる静かな自然環境の中にあり、落ち着いて学習ができます。私は、先輩たちが第2校地の樹木で作って残してくれたベンチに座って山々の緑を眺めるのが好きです。キャンパス内を流れる川や森は、私たちベシッククラスの授業の場です。みんなで助け合って沢登をしたり、木の枝を拾って静かな森の中でペーパーナイフを作ったりすると自分の心がとても解放されます。



VOICE



総合学科ベシッククラス
1年生
星野 竜也さん

生徒目線で工夫された施設が魅力

久野・荻窪キャンパスには、陶芸室や木工室、農場、広いグラウンドと多機能の体育館、相撲場・剣道場、機器を配置したトレーニングルーム、ボルダリング・ウォールなど、さまざまな実習やスポーツ活動の施設が整っています。校舎の施設も生徒目線で工夫されていて、職員室は、入り口に生徒が先生に相談したりちょっと勉強を教えてもらえるスペースがあり、廊下には友だち同士で座って交流できるベンチも配置されています。



FEATURE

キャンパスの特色

- 小田原駅からスクールバスで15分
- キャンパス総面積5万9460㎡、うち運動場面積2万3501.07㎡ (他農業実習地3471.07㎡)
- 緑豊かな立地条件を生かした教育機能整備
- 地域との関係を意識した学校づくり
- 新しい教育システムに対応したカリキュラムづくり
- 主に総合学科の「学び」の根拠地



FACILITIES

第2校地の主な施設・設備

- 【中央センター】
鉄筋コンクリート造及び鉄骨造(エレベーター付)、地上4階・地下1階、床面積8470.20㎡
- 1号棟/2005年4月竣工
教室 大セミナー室・中セミナー室・小セミナー室(準備室)
特別教室 調理室・試食室・情報室・資料教材室・図書室・視聴覚室・実習室
管理施設 校長室・職員室・面接室・応接室・事務室・用務室・倉庫
 - 2号棟/2007年8月竣工
教室 小セミナー室(準備室)、学習室(キャリアカウンセリング室)
特別教室 共同厨房・収蔵庫・生徒食堂・調理実習室・食農教育準備室・総合技術科(情報室・製図・デザイン室)・自然科学系実習室・教材室・カウンセリング室
管理施設 会議室・倉庫
- 【体育館】
鉄筋コンクリート造及び鉄骨造、地上3階、床面積1958.76㎡

- アリーナ
バスケットコート2面、バレーコート2面、バドミントンコート6面、卓球室、多目的室(ダンス等)、視聴覚室、体育科準備室
※アリーナには床暖房設備整備
- 【総合学習室】
- 1~2号棟/2002年3月改修整備
工作・木工など手しごと・ものづくりの実習室
 - 3~4号棟/2014年改築
武道場(相撲・剣道)
 - 5号棟/2003年4月竣工
陶芸実習施設(電動ろくろ)、窯室・教材準備棟/2003年8月竣工
- 【農業実習地】
- 食農教育・総合学習実習施設(農具庫と畑)
 - 無農薬野菜栽培実習施設

VISION

創立120周年へ向けた「新総合計画」

新名学園旭丘高等学校は、1902（明治35）年に城下町小田原の地に創立者新名百刀女史によって創設され、今年で創立116年を迎えました。創立110周年を機に、次の10年に向けて「新総合計画（ビジョン21・旭丘）」を策定し、「地域立・市民立」の私学の構築と「公費（公営）私学」の創造にチャレンジしています。また、新たな青年期教育・中等教育と一貫教育を展望して「中高連携教育」「専攻科設置」「こども園設置」を構想しています。

新名学園私学教育研究所「5つの研究課題」

新名学園私学教育研究所は2009年10月に設置されました。次の5つの研究課題のもと、子どもや生徒、保護者、教職員の現実の課題と結んだ研究活動が進められています。

- 1 私学と無償教育と公費私学創造の課題。
- 2 建学の精神・教育目標に沿って、子ども・生徒の発達研究。
- 3 日本国憲法の平和的生存権の保障、核兵器のない世界に向けた平和教育創造の研究。
- 4 地球環境と地域環境の問題についての研究。
- 5 小田原まちづくりに係る「学校と史跡の共生」「小田原のまちの教育・文化の創造」の課題。

HISTORY

- 1902年 ▼ 学園創立（裁縫・造花・編物伝習所の開設）
- 1906年 ▼ 私立学校（公の教育機関）神奈川県知事認可
- 1923年 ▼ 関東大震災で校舎倒壊、同年復興
- 1946年 ▼ 日本国憲法公布
- 1947年 ▼ 教育基本法制定
- 1949年 ▼ 私立学校法施行
- 1953年 ▼ 普通科開設
- 1954年 ▼ 現・小田原市民会館にある校地から現在の第1校地（城内キャンパス）に全校移転完了
- 1966年 ▼ 学校法人新名学園旭丘高等学校として認可
- 同年、箱根研修施設完成
- 1967年 ▼ 商業科開設（のち総合学科に発展移行）
- 1970年 ▼ 私立学校振興助成法制定
- 1981年 ▼ 第1次現況変更認可申請（現三棟）
- 1986年 ▼ 学園総合整備構想（のち計画）策定
- 1989年 ▼ 国連第44回総会で子どもの権利条約採択（1994年国会批准）
- 1994年 ▼ 第1校地第2次現況変更許可申請（全棟改築、改修、耐震工事）
- 旭丘高校の教育を守る会の設立
- 「高等学校設置基準問題」
- 1999年 ▼ 教育目標改訂（現行）、男女共学制復活実施
- 2000年 ▼ 第2校地取得
- 2001年 ▼ 第1校地第1期総合整備完了
- 2002年 ▼ 創立百周年記念式典挙行、総合学科開設、第2校地（久野・菟窪キャンパス）総合棟完成
- （久野・菟窪キャンパス）総合棟完成
- 2003年 ▼ 学園総合整備中期全体計画策定
- 2004年 ▼ 全学協議会結成
- 2005年 ▼ 第2校地中央センターⅠ・Ⅱ期計画整備完了
- 2007年 ▼ 第2校地中央センターⅢ期計画及び体育館完成
- 2009年 ▼ 新名学園「私学教育研究所」設立
- 2010年 ▼ 私立高校就学支援金制度（公立高校授業料無償）
- 2012年 ▼ 創立百周年記念式典挙行
- 2014年 ▼ 「新総合計画」策定
- 第1校地・第2校地総合整備構想
- （2022年構想）とその中間政策
- 第2校地武道場（剣道・相撲）設置、制服改定
- 国際連携教育（中国西安外国語大学附属外国語学校、安陽市開発区高級中学（高校）と姉妹校提携）
- 2016年 ▼ 海外留学生制度導入（モンゴルから入学）

旭丘高等学校「建学の精神」

新名学園旭丘高等学校は、1902（明治35）年に新名百刀先生によって、小田原の地に開設されました。

なくてはならぬ 指折仲間の人となれ
悪しきとて、ただ一筋に捨つるなよ、渋柿を見よ、甘干となる

創立者・新名百刀先生の講話です。生徒一人ひとりの可能性を大切に建学の精神は、「全面的に発達した人間の育成を図る」とした現在の教育目標に受け継がれ、国際化、情報化、個性化の「人間の世紀」を担う子どもたちを育てる私学づくりをすすめています。

学園創立者
初代校長
新名 百刀



- 新名学園創立記念日
毎年10月1日（百刀生誕日）
- 建学の精神を想う日
毎年9月第二月曜日
（百刀 祥月命日に近い曜日）

理事長・学校長からのメッセージ — 所感—五題 —

高校生活と三つの「せい」

高校生・青年期は自我と社会性に目覚め、さまざまな葛藤を通して社会的精神的自立、自己の確立を遂げる時代です。この青年期に必要な学びは、生命・生活の「生」、男性・女性の「性」、政治の「政」の「三つの「せい」」で表すことができると考えます。本校では青年期の自立と学びに応えるべく、つまり「生活と教育を結合させる」視点でさまざまな教育課程（カリキュラム）が用意されています。問題解決型の学習を大切に、生きる力と豊かな学力・キャリア教育で進路を切り拓く力を育てます。また、その教育方法として、生徒の体と手指を開き、「技」（わざ）を育て、「知」（ち）・認識力を育み、「観」（かん）を形成する実験の試みも進めています。

大禹精神の今日的意味を考える — 碑文の読み取り授業を通して —

私はここ数年、中国陝西省の西安碑林博物館と河南省安陽市の美里城、日本の酒匂川の大口にある福沢神社などで中国最初の王朝・夏の禹王の業績に係る碑文の読み取りを通じた探求授業を、日中両国の高校生と共に進めてきました。大禹（BC2000年前後の王）は黄河の治水工事を成し遂げた偉業と、治水工事に我を忘れて献身した指導者として中国の教科書にも掲載されている古代の部族連合の長です。さらに、大禹の治水の知恵と技術、そしてその精神は、日本にも広く伝わっており、各地域での暴れ川の岸辺に顕彰碑が建てられていることが知られています。さて、日中両国の生徒たちはこれらの交流を通してそれぞれの国の生活や文化を体と心で受け止め、国や民族・文化の違いを認識し、共同と連帯に係る積極的な行動力を身につけています。その意味で、大禹精神について考えることは、子ども・生徒が「物の見方・考え方・変え方」を形成していく上で大切な糧となり、平和で豊かな国際社会の在り方を探求していく地球市民を育てることにつながるものと考えます。

春と平和・友好を呼ぶ「友誼苑」の桜

シルクロードの基点—国際都市長安。唐の記念亭が彩りを添える西安外国語大学附属西安外国語学校「友誼苑」の開園おめでとうございます。この庭の樹木づくりのトップバッターに贈呈した日本の桜が選ばれて大変光栄です。「敷島（しきしま）の大

和心（やまごころ）を人間わば、朝日（あさひ）に匂（にお）う山桜花（やまざくらばな）。桜は日本人の精神の核心です。そして、春と平和を呼ぶ象徴です。ここ西安にも春と人々の友好が訪れました。桜を介した日本と中国、全世界の人々との永久（とわ）の平和に向けた豊かな交流と西安外国語大学附属高校とのインターネット授業づくりと留学生制度づくりなど交流活動の深化を期待します。（姉妹校・西安外国語大学附属西安外国語学校に設置された、国際交流と友好を象徴する庭園「友誼苑」の開園セレモニーにて）

創立者の建学の精神の意義を思う

当校の前身、新名裁縫女学校は1902（明治35）年、大垣藩士の娘である水野百刀が共立女子職業学校編物本科を卒業、同校の助教授を勤めた後、私立渡辺裁縫学校（現東京家政大学）を卒業し、小田原に「裁縫・造花・編物伝習所」を開校したことに始まります。1906（同39）年に神奈川県知事の認可を得て、近代的な学校制度・組織の私立女学校へ発展しました。新名裁縫女学校は二宮尊徳の報徳四訓（至誠・勤勞・分度・推論）を教育方針に、「一円融合」の哲学思想の下、今でいう差別と競争のない社会、農村復興のための自助・共助・公助・絆の力、個人と生命と社会的な平和などの実践につながります。その精神は現在の「生活と教育の結合」による全体的発達を目指す本校の教育目標につながり、人間の「社会的自立」を育む教育方針へと発展しています。

新たな学校づくりに向けて

本校は今年度、学園創立117年目を迎えます。日本社会における少子・高齢化、人口減少が深刻化する中、地域づくりと結んだ学校づくりは、日本社会の未来を拓くための重要な事業と考えております。本校は、2022年・創立120周年に向けて、子ども・生徒の発達を保障するとともに、地域社会の教育要求に応える学校づくりを更に前進させる気持ちを新たにしています。創立110周年を機に策定した「新総合計画」の展開が中間年を迎える今、一貫教育を展望してこの計画に盛り込んだ、上に専攻科等、下に「こども園」等を設置する構想について、これを実現させる社会的責務を強く自覚します。明治期に女子の実務教育の先駆けを築いた建学の精神を継承・発展させ、地域に根差し地域立・市民立の学校づくりを更に前進させていく所存です。



新名学園 旭丘高等学校
理事長・学校長
水野 浩